

「アッラーからの最良の贈り物」

@御徒町 masjid における 2018.3.30.金曜フトバ要約 by 杉本恭一郎

最も価値ある贈り物とは何か？それは来世における楽園であり魂の救済です。ムスリムが従うイスラームは、この楽園を獲得するための導きであり、具体的な方法です。そしてムスリムが手に入れようとしている楽園は、人生における最も価値のある喜びに満ちた選択（宗教に強制はありません）です。では楽園の喜びとは何で、現世の生活の喜びとは何が違うのでしょうか？

(1) 巨万の富

この世の成功を考えると、大きな家、宝飾品、高価な衣服、高級車のイメージを描きます。富の安定性は幸せな生活の鍵です。この理由からアッラーは、富と財産に関して、人間が望むすべての富を楽園の住人に約束しました。「かれらには数々の黄金の皿や杯が、次々に回され（楽園の）中には各人の望むもの、また目を喜ばすものがある」（クルアーン 43 章 71 節）。アブー・フライラが伝えたところによると、アッラーの使徒いわく「楽園には黄金の木の他の木はない」（アッティルミズィ）。

(2) 永遠の食糧

楽園には、現世で形は似ているけれど、食べるたびに味が変わる果物（2 章 25 節）があります。「（アッラーを）意識する人たちに約束される楽園の姿は、川が下を流れ、永続的な食べ物と日陰があります。これが（アッラーを）意識する人たちの最後です」（13 章 35 節）。

(3) 清純な配偶者

外面的・内面的に「清純な配偶者」を与えられます（2 章 25 節）。「至福の楽園の中で、寝床の上で向かい合う。清い泉からくんだ杯は、かれらにゆきわたり、真白な美酒は、飲む者に心地よい甘さ。これは、頭痛を催さず、酔わせもしない。またかれらの側には、伏し目な大きい目（の乙女）がいる」（37 章 43-48 節）。つまり楽園における女性は、この世におけるような生理や産後出血など不浄がない状態にあります。

(4) 病気や死がない

アブー・サイドとアブー・フライラの伝承によると、アッラーの使徒はこう言いました。「楽園の住人が楽園に入るとき、呼びかけ人はこう言います。あなた方はそこに住み、決して死ぬことはありません。健康のまま滞在し、病気になることはありません。また若いまま歳をとることもありません。あなた方は継続的な祝福を浴び、不幸に思うことは全くないのです」（サヒーフ・ムスリム）。ということは、楽園では、病気や不健康にちなんだ苦痛や労苦も一切ないこととなります。

(5) 悪い感情がない

楽園の住人の心は純粋で悪い感情はありません。彼らの言葉や行動は正しく、相手を傷つけたり、攻撃したり、イライラさせたり、挑発したりしません。「そこでは、無益な言葉や、罪作りの話も聞くことはない。ただ平安あれ、平安あれ。と言う（のを耳にする）だけです」（56 章 25-26 節）。「われら（アッラー）は、かれらの心の中にある怨恨を取り除きます」（7 章 43 節）。預言者いわく「楽園の住人の間には、意見の対立も、恨みもなく、彼らの心は 1 つのごとく、朝な夕なに、アッラーを称えるのです」（アッティルミズィ）。

アッラーはこの楽園という祝福を、彼の慈悲として、また善行への報いとして、彼が喜ぶ人だけに与えるのです。例えば、預言者いわく「善いメッカ巡礼の報奨は楽園以外にない」（アッティルミズィ）とあります。また「誰でも早朝の礼拝と午後の礼拝を行なう人の報奨は楽園です」（サヒーフ・ムスリム）ともあります。この楽園の幸せに向けて、人生を設計すること、ムスリムの言動の焦点を合わせることで最も価値ある選択なのです。